アンリツ株式会社
会社説明会

窪田　顕文

アンリツ株式会社
取締役　ＣＦＯ

2015年9月11日

東証第1部：6754
http://www.anritsu.com

Anritsu
envision : ensure

目　次

1．会社概要

2．アンリツの今　事業概要と経営体質

3．計測事業の特徴と強み

4．アンリツの成長ドライバー

5．中長期経営ビジョン

6．株主・投資家の皆さまへ

Copyright© ANRITSU CORPORATION

１．会社概要

Copyright© ANRITSU CORPORATION

1-1. 会社概要

アンリツは、創業以来120年にわたり、
世界の通信技術の発展に貢献してきた
リーディングカンパニーです。

社名	アンリツ株式会社
本社所在地	神奈川県厚木市恩名5-1-1
創業	1895年(明治28年)
事業内容	通信用計測機器、産業機械、情報通信機器等の開発・製造・販売
資本金	190億52百万円 (平成27年3月31日現在)
売上高	988億39百万円 (平成27年3月期：連結)
従業員数	3,926名(平成27年3月31日現在：連結)
グループ企業	国内：10社、海外：29社

Copyright© ANRITSU CORPORATION

1-2. アンリツのルーツ　－有線・無線通信企業の統合－

1895年（明治28年）

有線通信のパイオニア
石杉社創業

阿部電線製作所

1900年（明治33年）

無線通信のパイオニア
安中電機製作所設立

1908年（明治41年）

共立電機電線設立

1931年
（昭和6年）

安立電気（株）設立

1985年
（昭和60年）

Anritsu **アンリツ（株）に社名変更**

Copyright© ANRITSU CORPORATION

1-3. アンリツの２つの元祖（１）公衆電話

有線

公衆電話で、街頭でのコミュニケーションに貢献

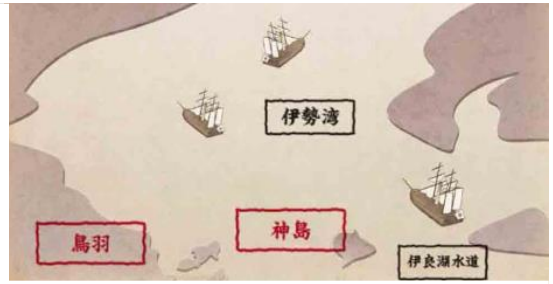
- 1908年、公衆電話の元祖「共電式自働電話機」を製造
- 日本だけでなく、オーストラリア、メキシコ、などに輸出

Copyright© ANRITSU CORPORATION

1-3. アンリツの２つの元祖（２）ケータイ

無線

スマホの源流は「TYK式無線電話機」

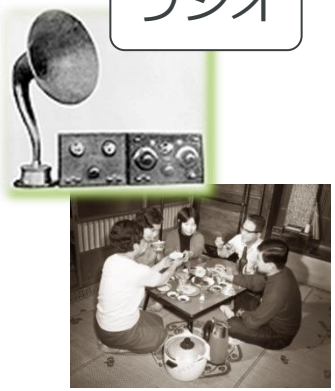


- 世界で初めて実用化された無線電話機を開発
- 三重県鳥羽市、神島に設置され、伊勢湾を航行する船舶の通信に利用

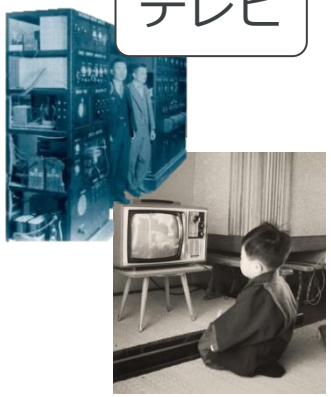
Copyright© ANRITSU CORPORATION

1-4. インターネット＆モバイルを支えるアンリツ

ラジオ



テレビ



携帯電話

スマホ

1900 **時代と通信の進展** 2000

固定電話

インターネット

Copyright© ANRITSU CORPORATION

2．アンリツの今

－事業概要と経営体質－

Copyright© ANRITSU CORPORATION

2-1. 事業概要

計測事業

開発・製造・建設・保守用

- モバイル市場 ： LTE, 3G
- ネットワーク・インフラ市場 ： 有線・無線NW
- エレクトロニクス市場 ： 電子部品、無線設備

ＰQA事業 ※

- 食の安全・安心
- X線異物検出機
- 重量選別機

その他

- IPネットワーク機器
- 光デバイス

（セグメント別売上比率）　2015年3月期 実績（連結）： 988億円

計測　７４％			産業機械	その他
モバイル	ネットワーク・インフラ	エレクトロニクス		
50%	30%	20%	16%	10%

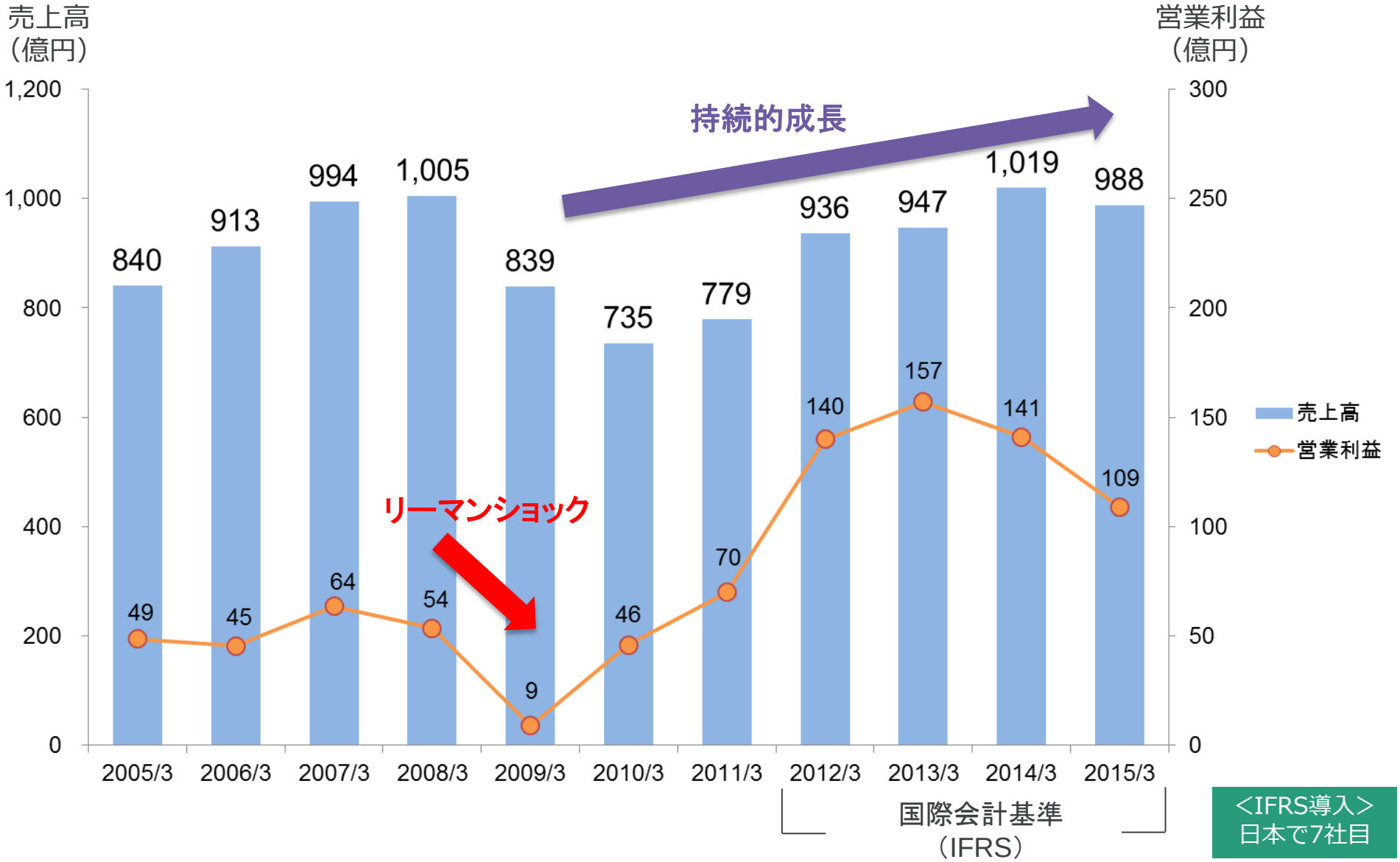
（計測事業 地域別売上比率）

日本	アジア、パシフィック	米州	EMEA
15%	35%	30%	20%

※ PQA事業：産業機械事業から名称変更

Copyright© ANRITSU CORPORATION

2-2. 連結業績の推移

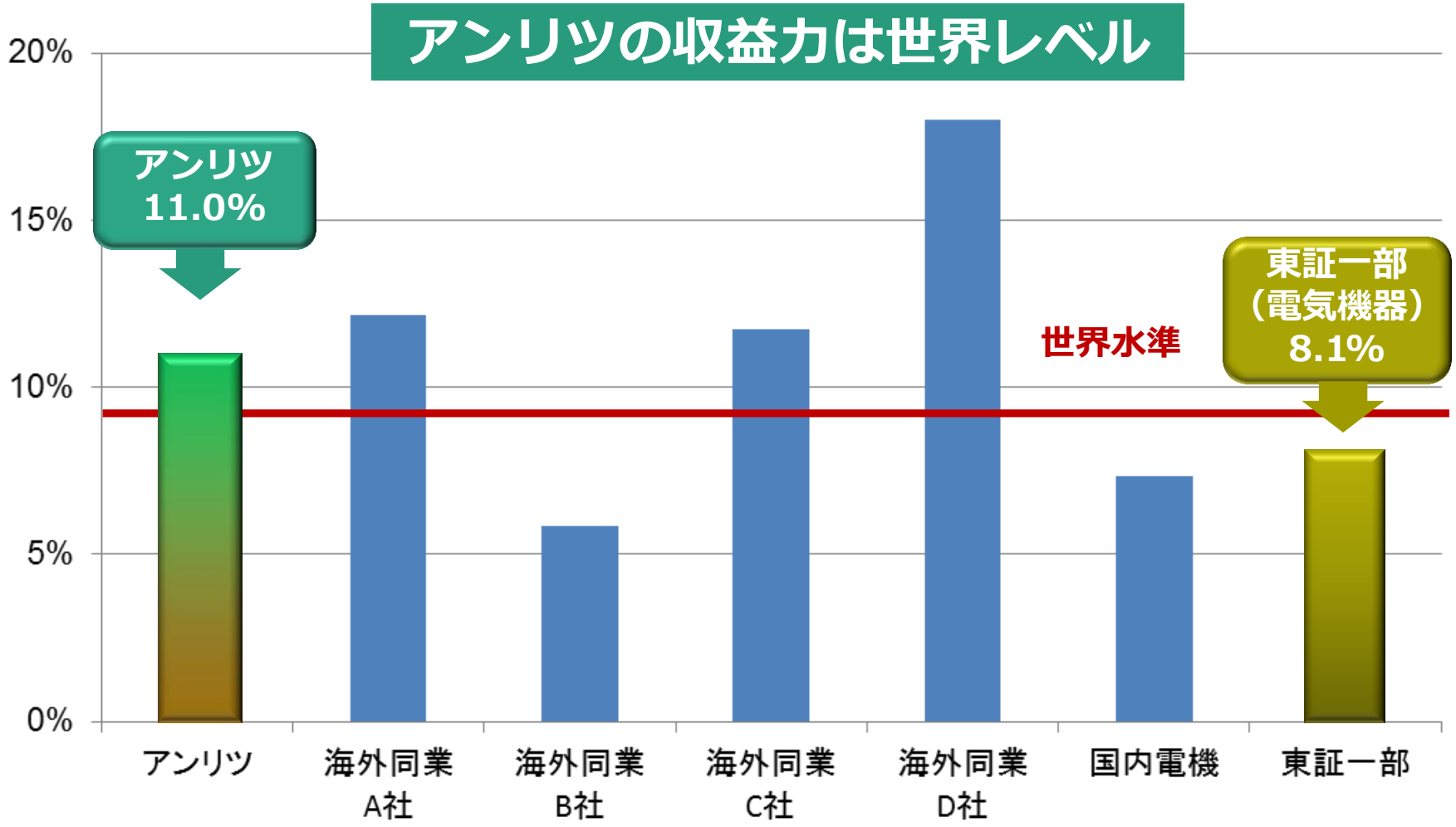


＜IFRS導入＞
日本で7社目

Copyright© ANRITSU CORPORATION

2-3. 各種指標でみるアンリツのポジション

（１）営業利益率



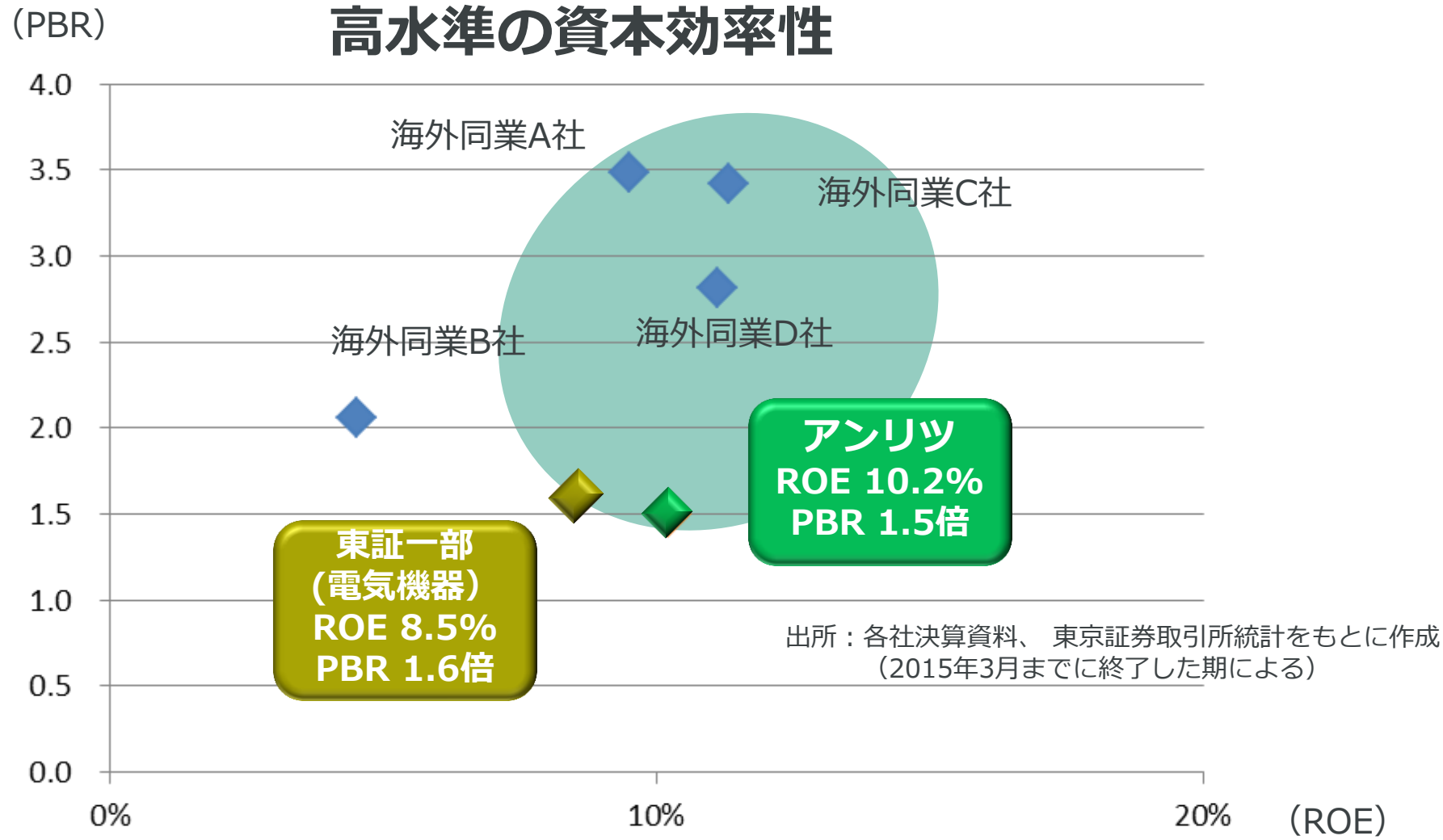
出所：各社決算資料、東京証券取引所統計をもとに作成

※東証一部（電気機器）：2015年3月までに終了した期による（159社）平均

Copyright© ANRITSU CORPORATION

2-3. 各種指標でみるアンリツのポジション

（２）ROE（株主資本利益率）とPBR （株価純資産倍率）



Copyright© ANRITSU CORPORATION

2-4.外部機関による評価

＊東証関連

- JPX日経インデックス400構成銘柄
- 2013年度 企業価値向上表彰 優秀賞受賞

＊SRI(社会的責任投資)評価

- 2015　**モーニングスター**

MS-SRI　モーニングスター社会的責任投資株価指数 Morningstar Socially Responsible Investment Index

- 2015 FTSE4Good Index

FTSE4Good

＊CDP気候変動レポート評価

- ディスクロージャースコア　⇒　83
- パフォーマンスバンド　⇒　B

＊フロスト＆サリバン

- 2013 Global Market Share Leadership Award

S331L
Cable And Antenna Analyzer

＊「誠実な企業」賞

- 「誠実な企業」賞
  2014年　優秀賞

Copyright© ANRITSU CORPORATION

３．計測事業の特徴と強み

Copyright© ANRITSU CORPORATION

3-1. モバイル計測業界の特徴

- 技術的な参入障壁が高く、
  限られた主要プレイヤーによる競争
- 2G（GS）、3G（W-CDMA）、4G（LTE）
  など、既存技術と新規技術の相互接続が必須

- 主な競合企業

ローデ・アンド・シュワルツ（独）　<非上場>
キーサイト・テクノロジー（米）　<NYSE上場>
（旧　アジレント・テクノロジー）

Copyright© ANRITSU CORPORATION

3-2. アンリツの強み

高い技術力

- 長期にわたり培われた信頼と高度な技術の蓄積
- 有線・無線、双方の技術を保有
- キーデバイスを自社開発

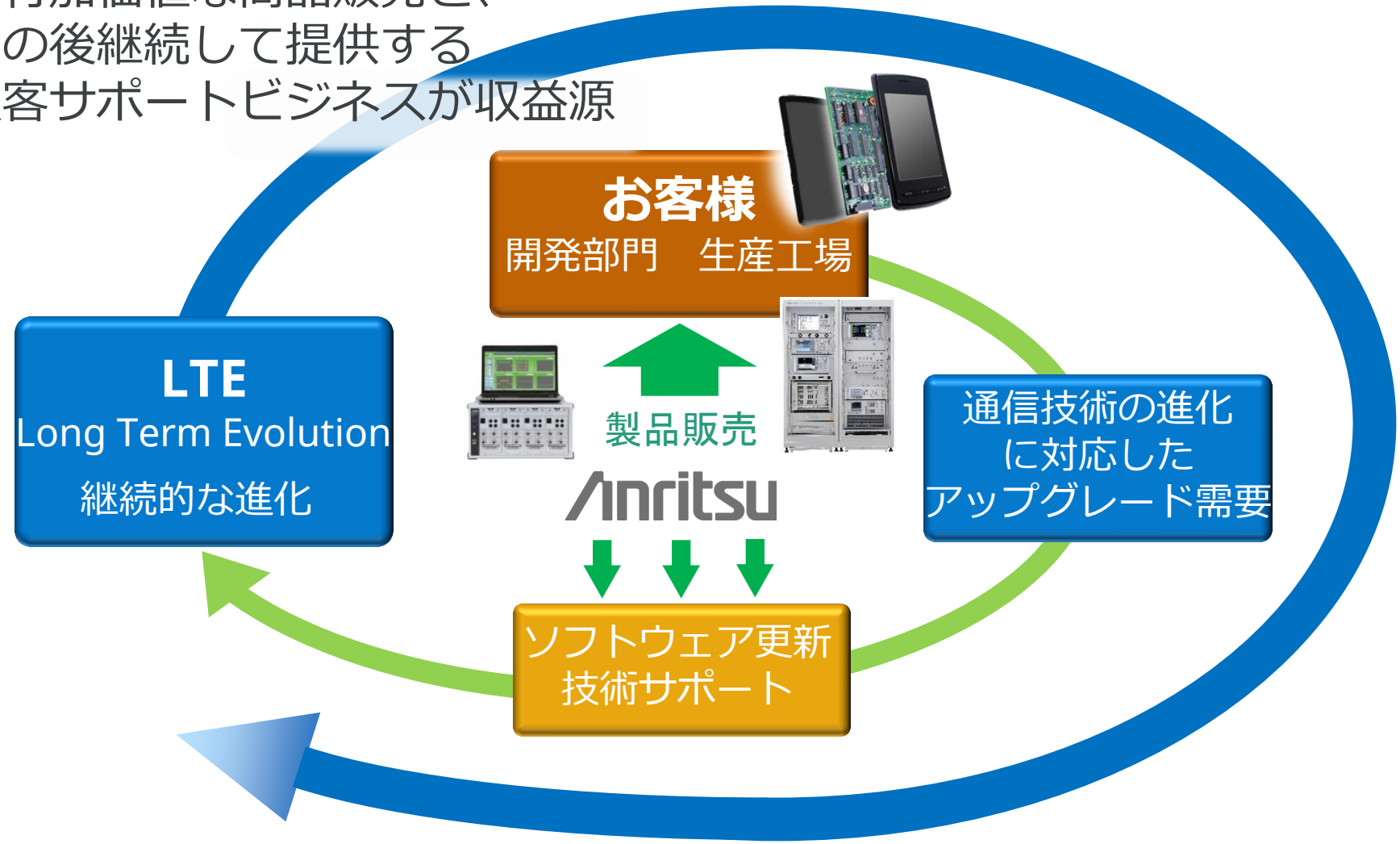
グローバルな開発・販売・サポート体制

グローバルなキープレーヤーとの信頼関係

Copyright© ANRITSU CORPORATION

3-3. 高い技術で社会の進化を支えるビジネスモデル

高付加価値な商品販売と、
その後継続して提供する
顧客サポートビジネスが収益源



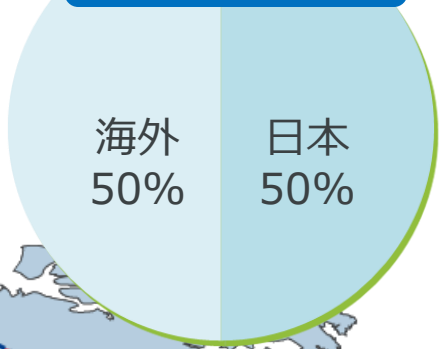
Copyright© ANRITSU CORPORATION

3-4. グローバルな事業体制

世界18カ国に24の法人を展開
（研究開発拠点7箇所、製造拠点3箇所）

各地域の拠点からグローバルなお客様をサポート

従業員数比率
（除 製造人員）



Copyright© ANRITSU CORPORATION

3-5. アンリツはモバイル計測のキープレイヤー

世界の通信サービスをリードする主要企業がお客様

Anritsu

強固な信頼関係を構築

通信オペレータ

- NTTドコモ、ソフトバンク、KDDI （日）
- ベライゾン・ワイヤレス、AT&T、T-Mobile （米）
- チャイナ・モバイル（中）、SKテレコム（韓）
- ボーダフォン（英）、オレンジ（仏）、等

チップセットメーカ

- クアルコム、インテル、ブロードコム（米）
- メディアテック（台）
  スプレッドトラム、ハイシリコン、等、 （中）

スマートフォン／タブレット端末メーカ

- ソニー、富士通、シャープ、京セラ（日）
- アップル、アマゾン、グーグル、マイクロソフト（米）
- サムスン（韓）
  レノボ、ファーウェイ、シャオミ、等 （中）

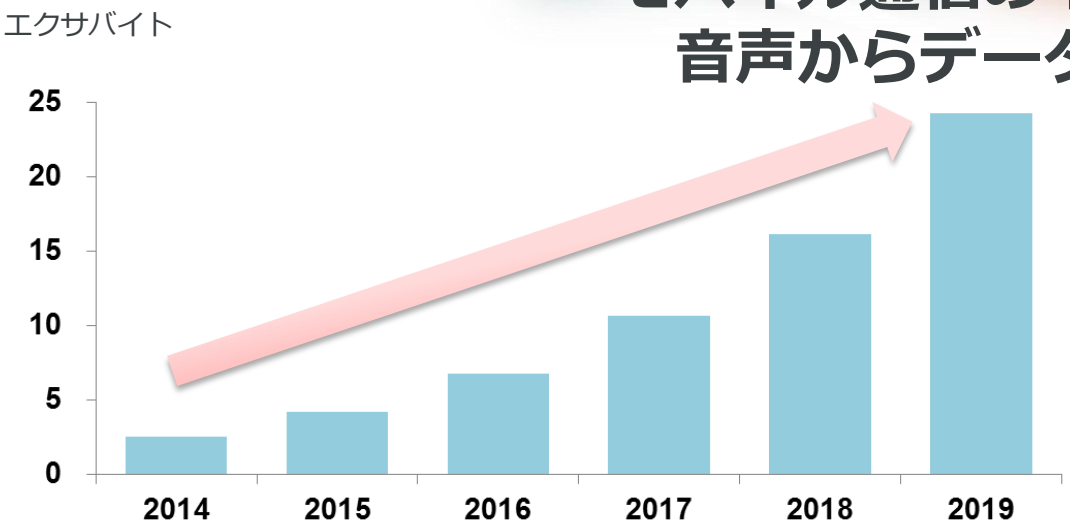
Copyright© ANRITSU CORPORATION

４．アンリツの
成長ドライバーは？

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-1. マルチメディアが手のひらサイズに

モバイル通信の中心は
音声からデータへ



2019年までに
データ通信量は
10倍以上に増加

出所：シスコ

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-2. こんな経験ありませんか？

遅い！

途切れる！

電池の消耗が早い！

データ通信量の増加が
引き起こす
様々な通信トラブル

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-3. アンリツの計測ソリューションが「つながらない」の解決に一役買っています

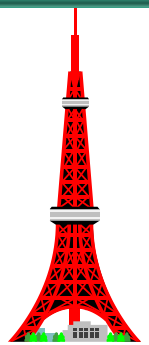
端末の高品質化

スマート端末の動作確認、
アプリの開発、バッテリー寿命試験

基地局の拡充

基地通信網の
動作確認　維持管理

通信ネットワークの効率化



東京タワー

放送電波の移行

東京スカイツリー

目に見えない電波を“見える化”して、
いつでもどこでも快適につながる社会の
実現に貢献します。

アンテナの
送受信特性解析

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-4. 成長ドライバー：モバイル計測事業

アンリツのビジネス拡大の Keyword

① スマート端末の普及

② モバイル通信の技術進化

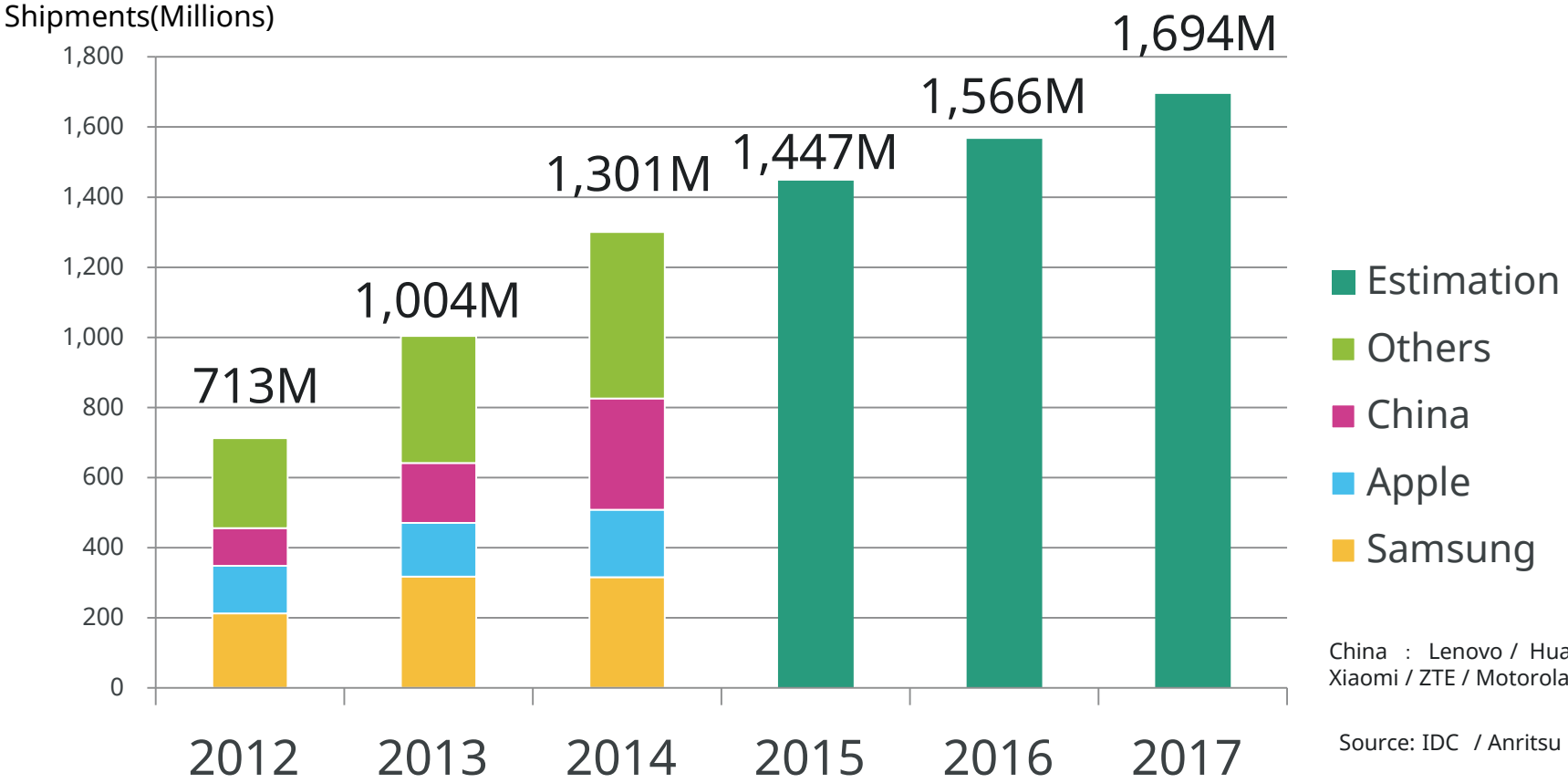
③ ネットワーク通信網の拡充

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-4 Keyword ①スマート端末の普及

スマートフォン出荷台数（～2017）

世界的な普及とともにスマートフォンの生産が増加
先進国から新興国へ普及が拡大



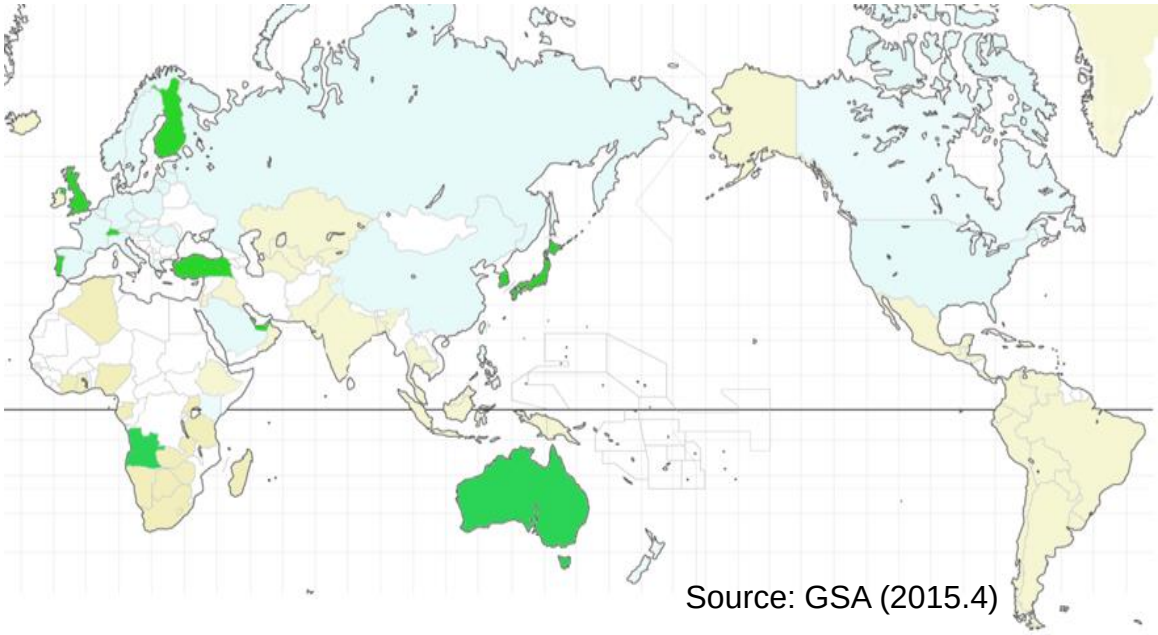
China ： Lenovo / Huawei / Xiaomi / ZTE / Motorola / TCL

Source: IDC / Anritsu Estimation

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-4 Keyword ②モバイル通信の技術進化

LTEは世界各国に普及　今後はキャリアアグリゲーション(CA)の導入加速による通信速度向上が進む



Source: GSA (2015.4)

～450Mbps
LTE 3CAサービス
11ヶ国で実用化に向け
実証実験等が進行中

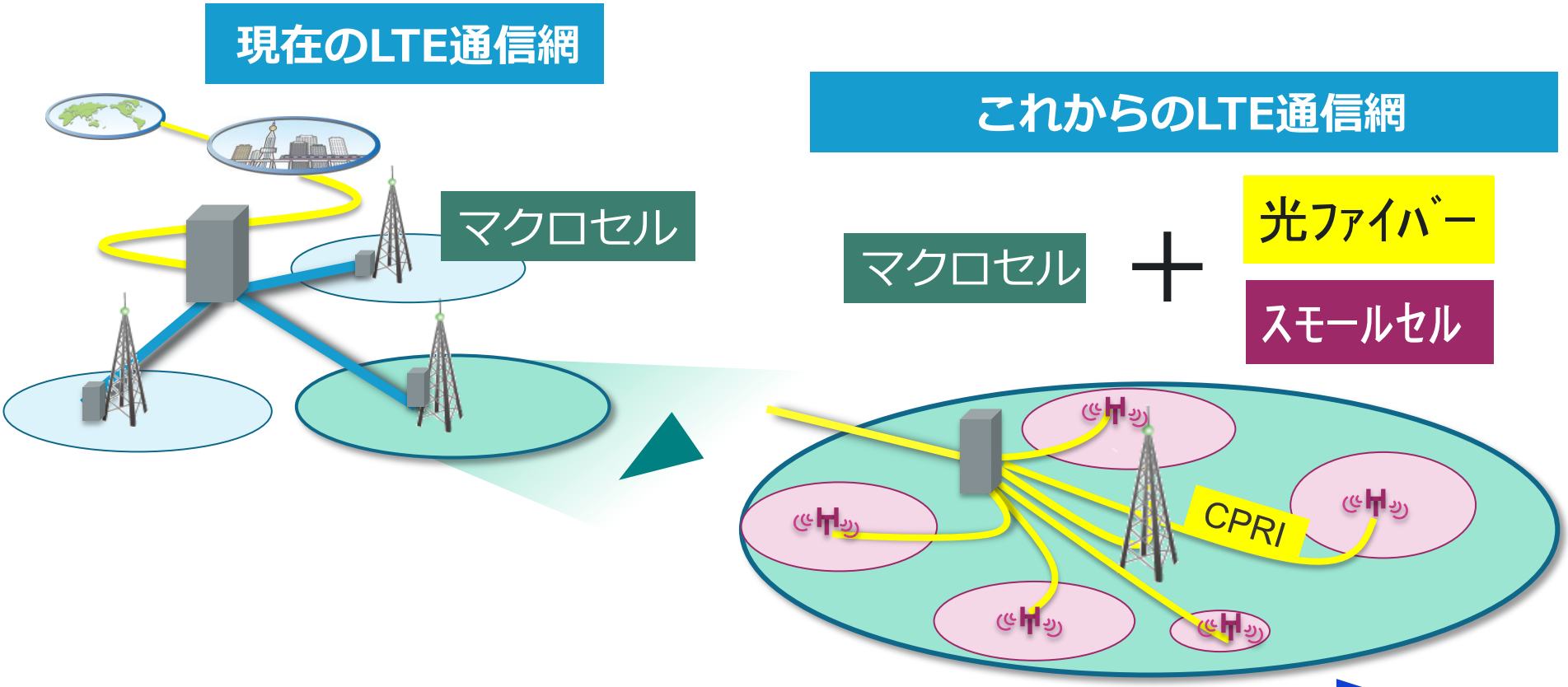
～300Mbps
LTE 2CAサービス
39ヶ国でシステム稼働中

~ 150Mbps
LTEサービス運用中

Copyright© ANRITSU CORPORATION

4-4 Keyword ③ネットワーク通信網の拡充

ネットワーク通信網の拡充がLTEの繋がり易さと高速化を支える



IoT/5Gを支える社会インフラとして　さらに進化

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5. 中長期経営ビジョン 2020VISION

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5-1. 2020VISION

1. Global Market Leaderになる

・アンリツらしい価値の創造
・ワールドクラスの強靭な利益体質の実現

2.事業創発で新事業を生み出す

・新しい分野でアンリツの先進性を発揮

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5-2. 中長期の事業戦略の基本方針

成長ドライバーを確実にキャッチして、
“利益ある持続的成長” を実現する

	市場 年平均 成長率	成長ドライバ	ターゲット	
			売上 成長率	営業 利益率
計測	3-5%	**ブロードバンドの拡大と革新** ①IoT(M2M) ②LTE-Advanced 、5G、Connectivity ③新しい基地局ネットワーク	≧7%	≧20%
PQA	3-5%	**安全・安心と健康の増進** X線による品質保証ソリューション	≧7%	≧12%
連結	–	–	–	≧18%
ROE	–	–	≧15%	

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5-3. 3カ年経営計画 GLP2017

GLP2017

指標	FY2014	FY2015	FY2017
売上高	988 億円	1030 億円	1,200 億円
営業利益	109 億円	110 億円	170 億円
営業利益率	11 %	11 %	14 %
当期純利益	79 億円	80 億円	130 億円

計測	売上高	734 億円	750 億円	900 億円
	営業利益	89 億円	90 億円	135 億円
	営業利益率	12 %	12 %	15 %
PQA	売上高	162 億円	180 億円	200 億円
	営業利益	8 億円	11 億円	16 億円
	営業利益率	5 %	6 %	8 %

（参考）GLP2017想定為替レート： 1米ドル=115円、1ユーロ=130円

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5-4. 計測事業の未来展望

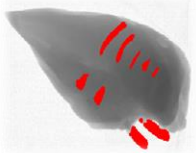
社会インフラとして発展するモバイル市場の
技術進化を的確に捉えてビジネスを拡大

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5-5. ①PQA事業概要(PQA:製品の品質保証 Products Quality Assurance)

食肉・加工食品など

混入異物検出例



加工された鶏肉に
残った骨を検出

安心・安全をご家庭へ

主な顧客

日本ハムグループ、グリコグループ、ニッスイグループ
クラフトフーズ・グループ、ユニリーバ　など

Copyright© ANRITSU CORPORATION

5-5. ②PQA事業の成長機会

拡大する海外市場で「地産地消」体制を推進

アジア

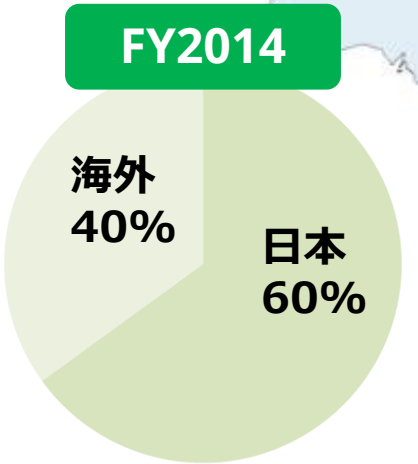
人口の増加と
品質検査市場
の拡大

日本

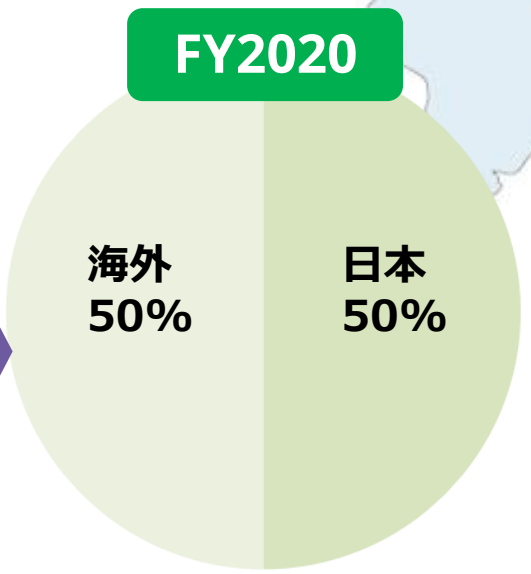
最先端の検査需要に
高付加価値
製品で応える

北米

食肉市場で
検査需要
の増大



海外売上
比率の拡大



Copyright© ANRITSU CORPORATION

６．株主・投資家の皆さまへ

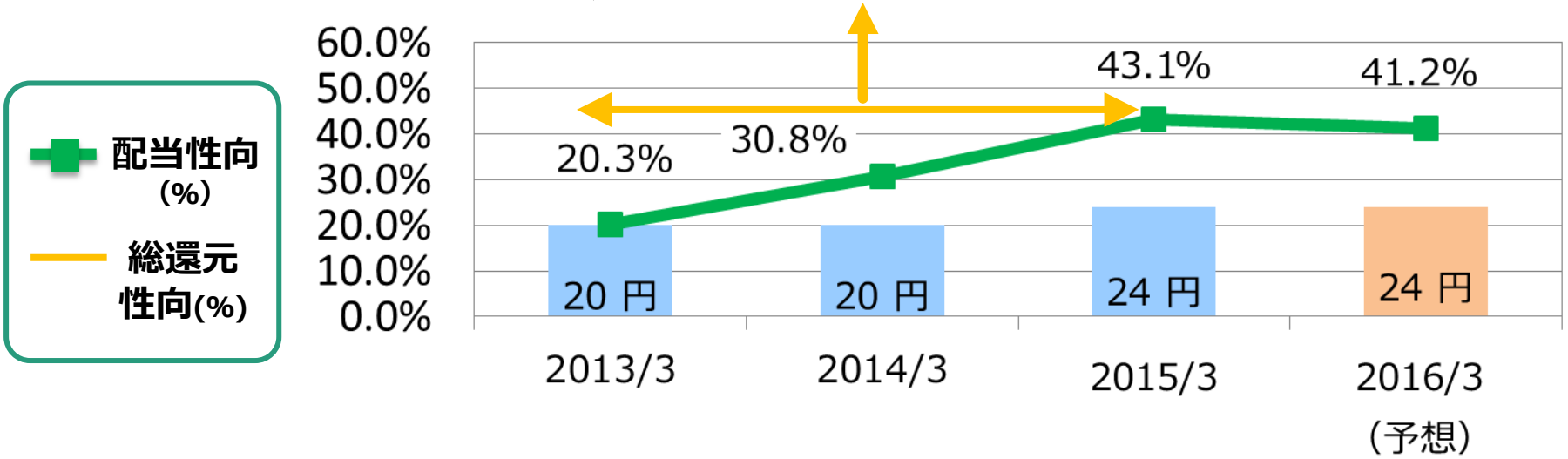
Copyright© ANRITSU CORPORATION

6-1. 株主還元の充実 ①

年間配当額の推移と予想

	年間配当	当期利益	配当性向
2016年3月期（予想）	**24円**	**80億円**	**41%**
2015年3月期	24円	79億円	43%

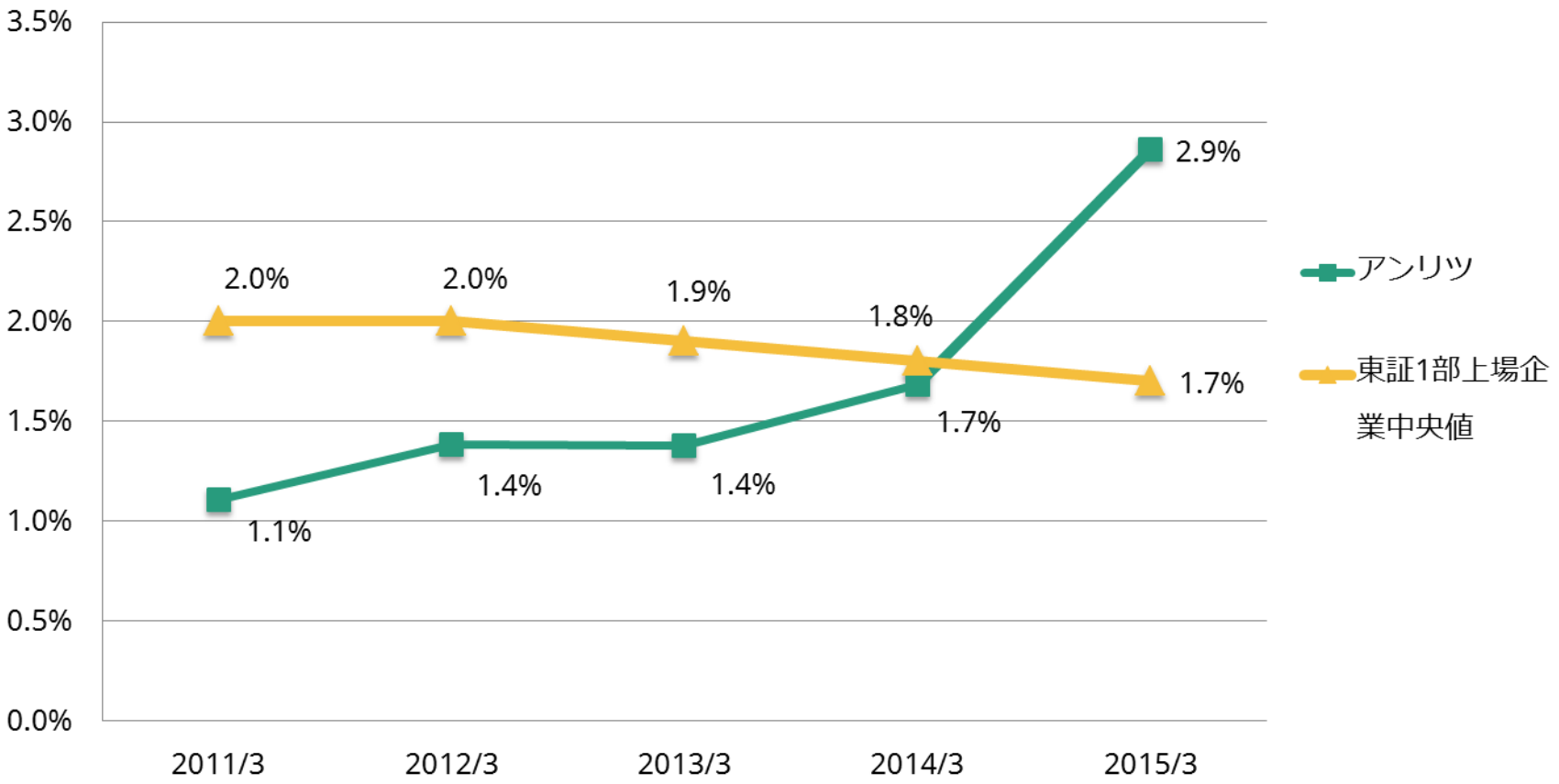
３年間平均の総還元性向 45.4%（自己株式取得50億円含む）



Copyright© ANRITSU CORPORATION

6-1. 株主還元の充実 ②

配当利回りの推移



配当利回り
アンリツ＝「１株当たりの年間配当金」÷「期末時点の株価」
東証一部上場企業中央値＝「支払配当総額」÷「期末時点での時価総額」 出所：東京証券取引所統計をもとに作成

Copyright© ANRITSU CORPORATION

6-2. 新ブランドステートメント

envision : ensure

– アンリツの約束 –

2015年、創業120周年を迎えたアンリツ。
私たちはいま、よりよい社会づくりに向けて、
新たな約束を掲げました。
それが、envision : ensure です。
お客様と夢を共有しビジョンを創りあげるとともに、
それをイノベーションによりお客様の期待を
超える確かなかたちあるものへと創りあげる。
これが、 envision : ensure に込めた
メッセージです。

Copyright© ANRITSU CORPORATION

6-3. アンリツ　IRサイトのご紹介

http://www.anritsu.com/ir

会社情報、財務・業績データ、決算関連資料、事業紹介など、皆さまの情報収集に役立つ情報を掲載しています。

【アクセス方法】

アンリツホームページ(http://www.anritsu.com)→左メニュー「投資家のみなさまへ」をクリック

Copyright© ANRITSU CORPORATION

注　記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

　実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

　なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

Copyright© ANRITSU CORPORATION

Anritsu

envision : ensure